



TITLE:

研究会の活動内容 (2013年度)

AUTHOR(S):

CITATION:

研究会の活動内容 (2013年度). アジア・キリスト教・多元性 2014, 12: 125-125

ISSUE DATE:

2014-03

URL:

<https://doi.org/10.14989/185785>

RIGHT:

研究会の活動内容（2013 年度）

第 120 回（2013 年 4 月 18 日）

・合評会

渡部和隆「内村鑑三の文学観——美の契機と真の契機からキリストへ」について
(担当：洪 伊杓)

洪 伊杓「韓国プロテスタント・キリスト教史の叙述方法論的考察——諸史観の
比較分析と研究傾向を中心に——」 (担当：方 俊植)

第 121 回（2013 年 5 月 25 日）

・高橋勝幸「西田幾多郎のキリスト教観」

第 122 回（2013 年 6 月 29 日）

・渡部和隆「内村鑑三と中沢治樹——コヘレトの言葉の解釈を中心に——」

第 123 回（2013 年 7 月 20 日）

・三野和恵「日本統治下台湾におけるイギリス人宣教師の伝道事業——キャンベル・
N・ムーディの伝道論と宣教実践に着目して——」

第 124 回（2013 年 8 月 29 日）

・高橋勝幸「秋月龍珉の見る西田幾多郎と同世代の禅者牧師——宗教間対話の試み——」

第 125 回（2013 年 11 月 9 日）

・書評：赤江達也著『「紙上の教会」と日本近代——無教会キリスト教の歴史社会学』
(担当：芦名定道)

第 126 回（2013 年 12 月 19 日）

・洪 伊杓「海老名弾正の神道理解——神道の類型論的分析を中心に——」

第 127 回（2014 年 1 月 30 日）

・狭間芳樹「キリシタンの「靈性」理解——イグナチオ・ロヨラの靈操とイエズス会
の靈性——」

第 128 回

・書評：岩野祐介著『無教会としての教会——内村鑑三における「個人・信仰共同体・
社会」——』(担当：渡部和隆)

第 129 回（2014 年 2 月 28 日）

・方 俊植「韓国のキリスト教に関する一報告」

・金 香花「植村正久は聖書翻訳をどう考えたのか」

第 130 回（2014 年 3 月 11 日）

・柴田真希都「明治期・内村鑑三における〈独立・自由・個〉の展開」

・三野和恵「宣教中後期(1914-31)ムーディの伝道論と実践:伝道師の給与問題を中心に」

・芦名定道「東アジアのキリスト教と民族」